

地域交通に係る人材育成の取り組みについて

一般財団法人 計量計画研究所
主幹研究員 牧村和彦

1 計量計画研究所の概要

一般財団法人計量計画研究所（IBS）は2014年に創立50周年を迎える都市交通、地域交通のシンクタンクです。

1960年代、高度成長期をむかえた我が国において、公共投資の最適配分をいかにして行うかに苦慮していた時代に“科学的計画”を担うユニークな研究機関として発足して以来、都市交通計画、都市計画、経済等の政策分野において、長きにわたり先駆的調査研究、政策立案の支援に携わってきました。

現在70名弱の研究スタッフが所属し、16名の博士、半数以上が技術士を有する専門集団です。

2 人材育成のための具体的取り組み

（1）フェローシップ活動（研究助成制度）

わが国の学術研究活動に寄与することを目的として、研究助成制度（IBSフェローシップ）を実施しています。毎年、研究者を公募し、海外における特定課題の研究を助成し、研究成果を公刊しています。また、成果報告のIBSフェローシップ発表会を毎年開催しています。

1994年から開始しこれまで34の研究テーマに取り組んできました。地域交通に関連する研究テーマには、例えば以下があります。

表 フェローシップの研究テーマ（一例）

2013年度（第18回）：2013年～

ドイツの地方都市における縮退・都市再生（リノベーション）の取り組み

2012年度（第17回）：2012～2014年

低速交通によるモビリティデザイン～高齢社会を支える街路空間再配分～

2009年度（第15回）：2009～2011年

オランダの自転車利用について（アムステルダムを対象として）

2008年度（第14回）：2008～2010年

ジャカルタ首都圏における都市鉄道とトランスジャカルタの評価

2004年度（第10回）：2004～2006年

東南アジア諸国における人力車（シクロ、その他）の成立と発展過程の都市交通機能から見た分析

(2) 技術講習会

国及び地方公共団体、交通事業者等の方を対象に、毎年都市交通マスタープランに関する技術講習会、モビリティ・マネジメントに関する技術講習会、合意形成に関する技術講習会を開催しています。

都市交通マスタープランに関する技術講習会は2日間のカリキュラムで構成しており、1日目は調査、分析、予測評価の基礎的な技術に関する講習、2日目は全国各地で取り組まれている交通マスタープランの事例紹介や最近のトピックに応じた5つの分科会による技術講習を行っています。

モビリティ・マネジメントに関する技術講習会は2日間のカリキュラムで構成しており、地域の交通政策担当者の技術的知識を効率的に習得していただくことを目的として、MMの事例研究、基礎的な技術手法について学識経験者や行政担当者による講習を行っています。



写真 都市交通マスタープランの技術講習会の様子
(左：全体講習、右：分科会)

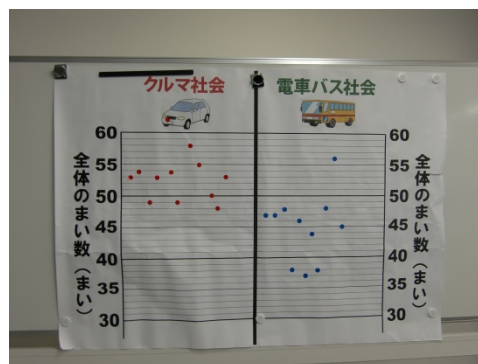


写真 MM 技術講習会での体験ワークショップの様子

(3) 国際セミナー

日独の地域や交通に関する人的交流や技術交流を目的に、ベルリン日独センター (JDZD) との共催による日独シンポジウムを定期的を開催しています。最近では交通とモビリティのための新たな政策と先端技術に関するワークショップや人口減少下における地域社会の再生に関するワークショップを開催しています。

表 地域交通に関連した日独シンポジウムの開催例
人口減少下における地域社会の再生(2013)東北大学との共催
交通とモビリティのための新たな政策と先端技術(2006)



図 日独シンポジウムの様子を取り上げた新聞記事

3 今後の予定等

今年は創立 50 周年を迎え、10 月 23 日 (木) には 50 周年記念シンポジウム、8 月にはモビリティマネジメントの技術講習会、11 月には都市交通マスタープランに関する技術講習会の開催を予定しています。開催の詳細は本研究所のホームページ (<http://www.ibs.or.jp/>) で最新情報をご確認ください。皆様のご参加をお待ちしております。

また、本研究所には地域交通に関するエキスパートが数多く在籍しております。地域交通でお悩みの自治体の方、交通事業者の方は遠慮なく以下まで問い合わせください (本研究所のホームページから問い合わせいただけます)。

IBS／一般財団法人 計量計画研究所

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町2番9号
TEL: 03-3268-9911(代表) FAX: 03-3268-9919

お問合せはこちらから → webmaster@ibs.or.jp